

2019年7月2日

各位

e ワラント証券株式会社

社会的要請の高まる「自動運転」の実用化で恩恵を受ける海外企業群に少額から分散投資
新商品『自動運転関連バスケット3e ワラント』

2019年7月8日(月)よりお取り扱い金融商品取引業者にて取引開始

e ワラント証券株式会社(所在地:東京都目黒区、代表取締役:廣瀬 丈久、以下「当社」)は、2019年7月8日(月)より、カバードワラント(以下「e ワラント」)の新商品として『自動運転関連バスケット3e ワラント』の取り扱いを開始いたしますので、お知らせ致します。

現在、様々な企業・研究機関において自動運転技術の研究や実証実験が行われています。自動運転は交通事故の削減や交通渋滞の抑制、物流の改善に効果が期待されており、本格的な実用化を望む声も日増しに高まっています。自動運転は株式市場でも長い間注目されているテーマではありますが、昨今の社会的要請の高まりを受けてさらに注目が集まるかもしれません。

自動運転技術の発展で恩恵を受けると考えられる銘柄には、完成車メーカーのほか、以下のような業種が考えられます。

- ① 高精度カメラやミリ波レーダーなどのセンサーから取得した情報の処理技術に特化した半導体メーカー
- ② ①により取得した情報を基に、各機能の制御を効率よく連携させて安全な自動運転を可能にする技術を開発・販売するプラットフォーム
- ③ 自動運転車両の商用利用(シェアライド、配送など)を目指すテクノロジー企業

e ワラントの新たなラインナップに加わった『自動運転関連バスケット3e ワラント』は、これらの企業群の中から当社が独自に選定した海外株 10 銘柄(以下「本バスケット」)に、小額でレバレッジをかけた投資を、損失限定でできる有価証券です。本バスケットの価格上昇によって値上がり期待できるコール型3銘柄とプラス5倍トラッカ型1銘柄があります。

なお、「自動運転バスケット3」の構成銘柄には、完成車メーカーは含まれておりません。これは、自動運転技術を支える部品やシステムの需要を担うサプライヤーへの投資の方が、現在の企業収益へのインパクトなどから判断して投資妙味があると考えたからです。

自動運転関連バスケット3の構成銘柄一覧

コード	バスケット構成銘柄	銘柄概要
ADI	アナログ・デバイセズ	アナログ半導体大手。自動運転車両に搭載されるセンサー類の増加により同社のアナログ半導体需要の拡大が見込まれる。
AMBA	アンバレラ	映像処理向けの半導体に強みを持ち、同社のチップを搭載した車載カメラの増加は高解像度の映像処理を行うことができる。
ANSS	アンシス	様々な産業にシミュレーション解析ソフトウェアを提供する。自動車産業向けには自動運転シミュレーションなどのソリューションを提供している。
APH	アンフェノール	車載コネクタや車載アンテナなどのインターコネクタ製品メーカー。自動運転システムが搭載されることで、耐熱性・耐震性等に優れた同社のコネクタ使用量の増加が期待される。
BIDU	バイドゥ	自動運転技術のプラットフォーマーとして自動運転開発プロジェクト「アポロ計画」を主導。同プロジェクトにはトヨタやホンダなども参画。
GOOGL	アルファベット	傘下のWaymo（ウェイモ）がアリゾナで自動運転車の配車サービスを展開。人工知能技術に強みを持ち、公道試験でも高い安全性を記録。
INTC	インテル	2017年にモービルアイ（イスラエル）を買収。BMWと提携し、自動運転プラットフォームの開発に取り組む。2020年に自動運転タクシーを開始することが報じられ話題に。
NVDA	エヌビディア	高性能なGPUを武器に自動運転をトータルでサポートする製品を展開している。アウディやボルボ、トヨタなどとの提携を通じて自動運転システムの開発を推進している。
TRMB	トリンブル	位置情報取得に用いられるGPSを提供する。GPSは車の位置や稼働状況をリアルタイムで把握するために用いられ、同社も多くの企業に納入している。
UBER	ウーバー・テクノロジーズ	配車サービス大手。ライドシェア向け自動運転システムを開発。トヨタ・デンソー・ソフトバンクなどから出資を受け、日本への自動運転技術展開を検討。

【当社及びeワラントについて】

当社は、日本でのカバードワラント^{*1}市場をリードしてきたゴールドマン・サックス証券株式会社からeワラント事業を譲り受け、継承・発展させることを目的として設立されました。

登録商標である「eワラント」の認知度は高く、18年以上の実績があります。日本における代表的な小口の投資家向け店頭カバードワラント^{*2}として、株式会社SBI証券、EVOLUTION JAPAN証券株式会社を通じて取引されております。

投資家の皆様は、eワラントを通じて対象原資産とする国内個別株式／外国個別株式／株価指数／外国為替相場／コモディティ(商品相場)／バスケットにレバレッジ投資が可能です。また、損失限定(投資した資金以上の損失はない)という特長があり、レバレッジ水準は国内外の個別株式・株価指数を対象原資産とする銘柄で2倍～20倍程度、為替を対象原資産とする銘柄で2倍～50倍程度です。

当社は、カバードワラントの商品設計、システム開発、安定運用等について、高度な専門知識と経験を持つスタッフを擁しており、投資家の皆様の様々なニーズを満たすことができる金融商品を開発し提供しております。

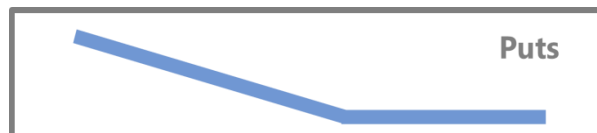
^{*1} カバードワラントとは、オプション取引に係る権利を表章する金融商品取引法上の有価証券であり、経済効果はオプション取引と同様です。

^{*2} 店頭カバードワラントとは、金融商品取引所に上場していないカバードワラントを指します。

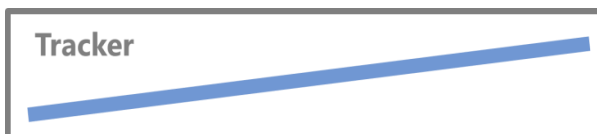
【e ワラントのラインナップ】



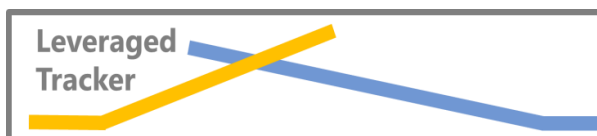
①コール/プット 一般に、対象原資産が上昇するとコールが上昇、対象原資産が下落するとプットが上昇。数倍から数十倍程度のレバレッジ効果がある。数日～数週間の投資向き。



②ニアピン 将来の相場水準を予想して投資するため、膠着相場も投資機会にすることが可能。予想的中またはナイスアプローチで受取金発生。



③トラッカー 指数、指標等に連動する投資成果を目指すタイプ。ETF と類似の商品性をもつ。中長期の投資向き。



④レバレッジトラッカー(プラス 5 倍・マイナス 3 倍) ブルベア投信・レバレッジ ETF の弱点を改良した商品性を持つ。数日から数ヶ月の投資向き。

【本件に関するお問い合わせ】

e ワラント証券株式会社 マーケティング部
 TEL: 03-5781-8303 E-MAIL: info@ewarrant.com
 ホームページ: <https://www.ewarrant.co.jp/>

【e ワラント(カバードワラント)の手数料及びリスク説明】

e ワラント(カバードワラント)は、対象原資産である株式・株価指数、預託証券、通貨(リンク債)、コモディティ(リンク債)の価格変動、時間経過(一部の銘柄を除き、一般に時間経過とともに価格が下落する)や為替(対象原資産が国外のものの場合)など様々な要因が価格に影響を与えるので、投資元本の保証はなく、投資元本のすべてを失うおそれがあるリスクが高い有価証券です。また、対象原資産に直接投資するよりも、一般に価格変動の割合が大きくなります(ただし、e ワラントの価格が極端に低い場合には、対象原資産の値動きにほとんど反応しない場合があります)。さらに、取引時間内であっても取引が停止されることがあります。詳細は、最新の外国証券情報をご参照ください。

取引委託手数料は無料(0 円)です。お客様の購入価格と売却価格には価格差(売買スプレッド)があります。
 e ワラント証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 2526 号 加入協会: 日本証券業協会